

# 進路だより

発行：平成 25 年 12 月 6 日

## 1 学力推移調査実施結果について

10 月 24 日（木）に、1 学年で「学力推移調査」を実施しました。その結果のご報告と、この時期にご家庭でご注意いただきたい点をまとめています。

### 学力推移調査とは？

学力推移調査とは、中高一貫校の中学校向けの全国テストです。基礎学力の定着度とその裏づけとなる生活習慣・学習習慣・意識などをともに測定することで、今後の学習において、生徒が自主的に目標設定や学習行動ができるように促すための教材です。  
 <参考>2013 年度 1 年生第 2 回受験者数：54,019 人

### 今回の結果について

今回のテストの実施結果を右に掲載しています。記述式のテストで、基本から応用まで幅広い分野が出題され、日頃の学習の成果が試される内容でした。校内・全国の平均点を掲載しています。まずは、お子様にお配りしている個人成績票と実施結果を比較してください。

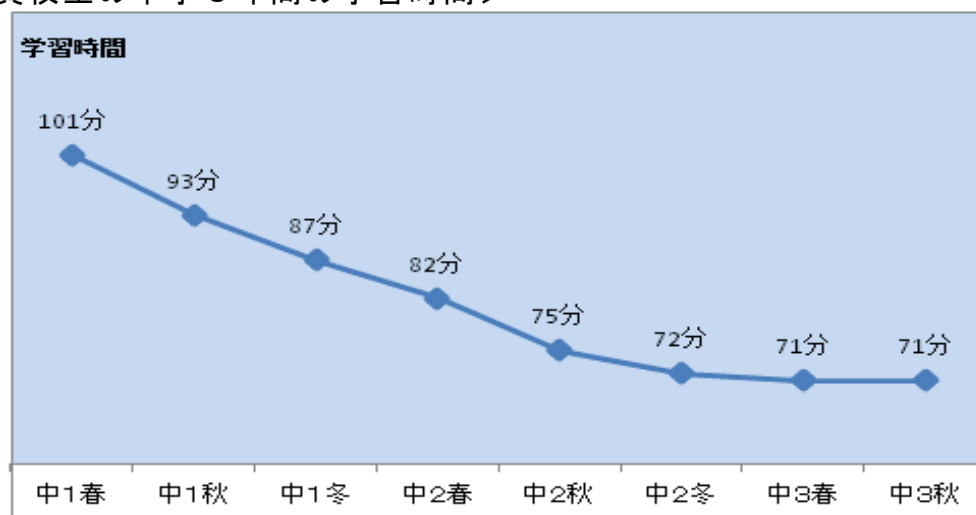
	生徒	校内平均点	全国平均点
国数英			142.8
国語			55.1
数学			45.7
英語			42.0

### 中等 1 学年秋：「中等生」になれているかを確認する時期

中等 1 年後半になり、お子様もすっかり学校生活に慣れた頃だと思います。

下の図は、生徒の学習意欲の変化を図で示したものです。このように、入学時には高かった学習意欲が学校生活に慣れたこの時期に低下してくる傾向は多くの生徒に見られます。このため、中等 1 年秋には、生活・学習習慣について見直しが必要です。「小学 7 年生」ではなく、「中等生」になれているか、ご家庭でもぜひ振り返りをお願いします。特に、小学校時代の生活・学習習慣から抜け出せていない生徒に、学習意欲が低下する傾向があるようです。

### <中高一貫校生の中学 3 年間の学習時間>



※グラフ中の数値は、2012年度学力推移調査において、平日の学習時間の全国平均をまとめたものです。

## この時期、ご家庭でご注意いただきたいこと ～学習習慣の定着～

### ①自宅学習の開始時間を決める

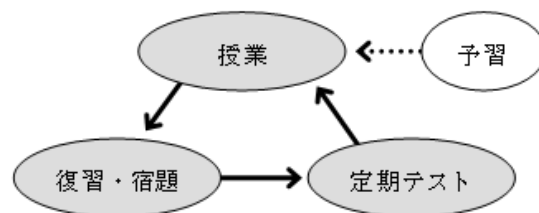
帰宅後の学習開始時間を決めることは、生活リズムを一定にする上でも重要です。毎日の学習開始時間を固定することで、学習計画も立てやすくなり、一定の自宅学習時間を確保できるようになります。お子様と学習開始時間を決め、その時間には机に向かうことができるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

#### 18 帰宅後いつから学習を開始するか（単位：％）

選択肢	校内	全国
①帰宅後すぐ		12.8
②夕食をとってから		44.4
③寝る前		13.4
④朝起きてから		1.3
⑤特に決まっていない		26.0
⑥自宅学習はしていない		1.9

全国では約3割弱の生徒が「特に決まっていない」と回答しています。

<中等教育学校の学習サイクル>



### ②学習時間の目標を設定する

学習開始時間とあわせて、学習時間の目標を設定することも大切です。今後学年が上がるにつれて、学習内容も難しくなるため、自宅学習がますます重要になってきます。また、学校行事や部活動などでさらに忙しくなるため、効率的な学習も必要です。ぜひご家庭でもお子様の学習の様子をチェックしてください。

#### 14 授業がある日の学習時間（単位：％）

選択肢	校内	全国
①ほとんどしない		5.6
②30分		12.3
③1時間		20.7
④1時間30分		21.4
⑤2時間		26.8
⑥3時間		10.3
⑦～⑨4時間以上		2.9

授業がある日の学習時間について、全国では1時間～2時間程度学習している生徒が多いようです。

### ③部活動と学習を両立させる

部活動に参加し、積極的に取り組んでいる生徒が多く見られます。一方で、学習との両立に悩む生徒も少なくないようです。通学時間の変化もあり、多くの生徒は中学校入学後、生活リズムが大きく

#### 7 部活動と学習の両立（単位：％）

選択肢	校内	全国
①両立ができている		45.6
②学習時間が確保できない		12.5
③疲れて学習に集中できない		31.6
④部活動はしていない		10.0

全国では「両立ができている」という生徒が4割以上いる一方で、学習との両立に課題がある生徒も4割以上いるようです。

変わっています。休日の過ごし方の工夫など、学習と部活動を両立するため自分にあったペースをつくるのが大切です。ご家庭でもサポートをお願いします。

※掲載している「全国」のデータは学力推移調査2012年度1年生第2回「学習実態調査」の全国集計結果です（数字は回答番号です）。